

みずほCustomer Desk Report 2022/02/02 号 (As of 2022/02/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.17
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	115.13	1.1229	129.31	1.3443	0.7066
SYD-NY High	115.19	1.1279	129.52	1.3528	0.7130
SYD-NY Low	114.56	1.1221	128.88	1.3434	0.7033
NY 5:00 PM	114.69	1.1274	129.29	1.3526	0.7129
NY DOW	35,405.24	273.38	日本2年債	-0.0500	0.00bp
NASDAQ	14,346.00	106.12	日本10年債	0.1800	1.00bp
S&P	4,546.54	30.99	米国2年債	1.1681	▲1.56bp
日経平均	27,078.48	76.50	米国5年債	1.6210	0.74bp
TOPIX	1,896.06	0.13	米国10年債	1.7937	1.08bp
シカゴ日経先物	27,180.00	▲150.00	独10年債	0.0345	2.30bp
ロンドンFT	7,535.78	71.41	英10年債	1.2970	▲0.65bp
DAX	15,619.39	148.19	豪10年債	1.9100	▲0.20bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	5.88	▲0.03%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.33	0.00%
NY金	1,801.50	5.10	USDJPY 6M Vol	6.57	▲0.03%
WTI	88.20	0.05	USDJPY 1M 25RR	-0.68	Yen Call Over
CRB指数	256.800	1.68	EURJPY 3M Vol	7.25	0.00%
ドルインデックス	96.39	▲0.16	EURJPY 6M Vol	7.33	▲0.06%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月1日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -4.4%	-2.0%
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	1-Feb 0.1%	0.1%
	17:55	独 マークイット製造業PMI・確報	1月 59.8	60.5
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	1月 55.5	55.0
2月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	12月 0.2%	0.6%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	1月 57.6	57.5

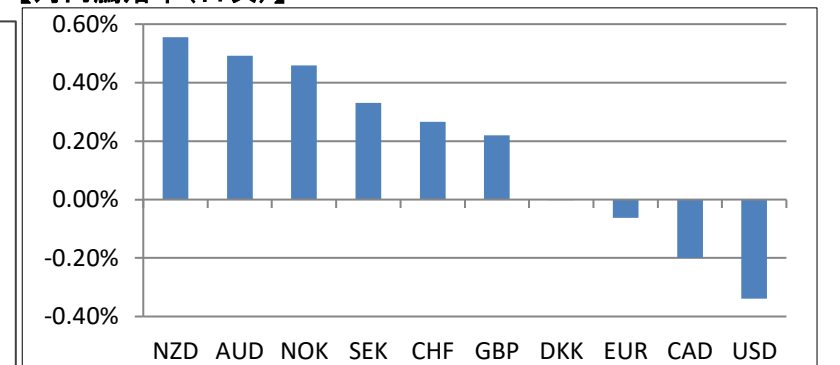
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月2日	19:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)	1月 -0.4%/4.4%	0.4%/5.0%
	19:00	欧 コアCPI・速報	1月 1.9%	2.6%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 184K	807K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-115.00	1.1200-1.1300	128.80-129.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落する展開。東京時間に115.10円台でオープンしたドル円は、中国等の主要なアジア市場が旧正月で休場となる中、米長期金利低下を背景に114.80円台まで下落。海外市場では、米長期金利が1.75%を割り込む動きにドル円は114.56円まで下落。その後ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁による「データ次第だが、今年は25bpの利上げ4回が望ましい」との発言や、米1月ISM製造業景況指数の結果が市場予想の範囲内となったことが伝わるも市場の反応は限定的となり、結局114.60円台でクローズ。本日のドル円は上値重い値動きを予想する。昨日は複数のFRB高官発言が出ているものの積極的な利上げについて慎重な姿勢を示している。1月FOMC後に3月会合における50bpの利上げに対する市場の過熱感が高まっていただけに、目先は巻き戻しから上値重い展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は115.13レベルでオープン。米長期金利が低下するなかじり安の展開となり114.89まで下落するが、114円台では押し目買いも入り115.05レベルで海外に渡った。また、正午辺りに発表された豪中銀の理事会の声明文は、債券買い入れプログラムは2月に終了するものの利上げの可能性を示唆しないハト派な内容であったことで一時的にAUDが売られるも徐々に買い戻され元の水準に戻った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.05レベルでオープン。米長期金利の低下につれた動きでドルが全般に弱かった。早々に115円台を割ると114.56まで売られ114.68レベルでNYに渡った。(ロンドンホールフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	114.68レベルでNYオープン。朝方は海外時間で低下していた米金利が持ち直し、ドルの買い戻しが優勢。その後、ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁の「データ次第だが、今年は25bpの利上げ4回が望ましい」との発言や、米1月ISM製造業景況指数の結果が予想範囲内だったことが伝わるも、ドル円の反応は限定的。一時114.88まで上昇するも、米金利の上昇一服とともに伸び悩み、114.70近辺まで下押し。午後は新規手がかり材料に乏しく、114.70近辺でもみ合い。終盤も方向感無く推移し、114.69レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.1230近辺スタート。前日進んだユーロのショートカバーが一巡し、1.1221まで下落する場面もあったが、欧州株の堅調推移や1月CPIの予想上振れがユーロ買いをサポートし、1.1279まで上昇。早朝に小幅反落し、1.1262レベルでNYオープン。朝方は1.1274まで上昇するも、次第に米金利上昇が重しとなったことから伸び悩み、1.1234まで反落。午後は米株の上げ幅上昇を受けてユーロ円が底堅く推移する中、ユーロ円の上昇に連れ高となった。終盤に1.1274まで再び上昇し、そのまま同レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大谷・松木